

がわねほんちよう 第18号 社協だより

第18号

H22. 6. 24発行



地域で咲かせよう！優しい♡心 — 中学生福祉体験学習 —

平成 22 年 5 月、町内の中学 2 年生が「特別養護老人ホームとこは」において 2 泊 3 日の福祉体験学習を実施しました。

この学習には、障害を持つ人やお年寄りと触れ合うことにより、生きる尊さや自分の生き方を考え、福祉に対する眼を育むという目的があります。

生徒達はレクリエーションに参加したり、読み聞かせや楽器演奏など自分達で考えた出し物を発表。初めは緊張していた生徒達も、時間が経つにつれいきいきとした表情に変わっていきました。

福祉とは「**ふ**だんの **く**らしの **し**あわせ」と言われます。今回の学習で学んだこと、感じたことを大切に、自分ができることを普通の暮らしの中で活かしていきましょう！

本川根中学校2年生



中川根中学校2年生



川根本町社協のことを知って下さい！ *ホームページオープン*

社協では、町民のみなさんとともに、「みんなの力でふれあいと助けあいのまちづくり」を目指して事業・活動を推進しています。

これらの内容は、本紙でもお伝えしていますが、日々更新されていく情報をすぐお届けできるように、ホームページをオープンしました。ぜひ、ご覧下さい！



川根本町社協

検索

(URL <http://kh-syakyo.com/>)

．．．目次．．．

- 2P.....平成 21 年度赤い羽根共同募金使途報告
- 3P.....社協だよりアンケート調査集計報告
- 4P.....平成 22 年度町社会福祉協議会事業計画
- 5P.....平成 22 年度町社会福祉協議会予算
- 6P.....善意銀行、お知らせ

．お問い合わせ及び発行元．

- 社会福祉法人 川根本町社会福祉協議会
- <本川根事務所> 〒428-0415 上岸 90
- TEL 59-2315/FAX 59-4139
- <中川根事務所> 〒428-0313 上長尾 990
- TEL 56-1872/FAX 56-1879

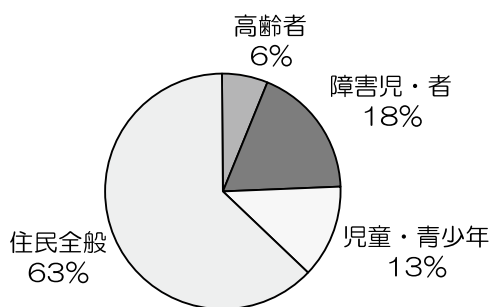
この社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成金で作られています。

平成21年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 使途報告

平成21年度も、皆様より赤い羽根共同募金（一般募金）に1,346,445円、歳末たすけあい募金に1,736,106円のあたたかいご寄付が寄せられました。ご協力、誠にありがとうございました。下記のとおり、事業を実施致しましたので、ご報告致します。

赤い羽根共同募金（一般募金）助成事業（助成額 1,438,810円）

区分	事業名
高齢者	地域高齢者敬老事業
障害児・者	心身障害者と民生委員児童委員との交流事業、身体障害者支援事業、知的障害者支援事業
児童・青少年	小中学生と民生委員児童委員との交流事業、児童遊園地整備補修事業、母子父子家庭小学校入学児童・中学校卒業生徒祝品贈呈事業
住民全般	社協広報紙発行、社協広報紙アンケート調査事業、ふれあい広場開催事業、ボランティア活動視察研修助成事業



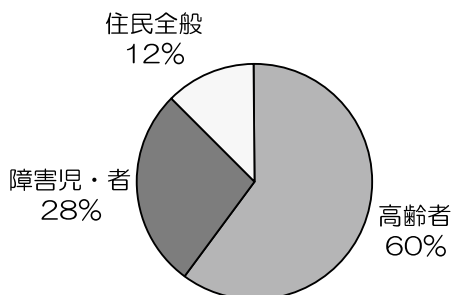
↑ふれあい広場開催事業（南部地区）



↑心身障害者と民生委員児童委員との交流事業

歳末たすけあい募金助成事業（助成額 901,058円）

区分	事業名
高齢者	独居高齢者に対する慰問事業、おせち料理配食事業、自宅長期療養者に対する慰問事業、ひとり暮らし高齢者ふれあいのつどい
障害児・者	在宅知的障害者に対する慰問事業、在宅肢体不自由者に対する慰問事業、就労継続支援B型事業所通所者に対する慰問事業
住民全般	生活保護世帯に対する慰問事業、低所得世帯に対する慰問事業



↑就労継続支援B型事業所通所者に対する慰問事業



※実績額との差額 1,725,583円は、平成22年度川根本町社会福祉協議会の地域福祉事業費として助成されます。



使い道についてもっと詳しく知りたい方は、[赤い羽根データベース「はねっと」](#)をご覧ください！

赤い羽根 はねっと

検索



広報紙「かわねほんちょう社協だより」 アンケート調査集計報告

この調査は、本会が年4回発行している広報紙「かわねほんちょう社協だより」を、より多くの方に読んでいただける、魅力ある役立つ広報紙への改善のための基礎資料とするために実施しました。

お忙しい中、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

ここで、調査結果を抜粋してご報告致します。

1. 調査期間及び対象、回収状況

調査期間：平成22年2月8日～平成22年3月31日

調査対象：区長、組長、社協特別会員、民生委員児童委員、ボランティア代表、役場各課職員、教育委員会各課職員、中学生、高校生 計500名

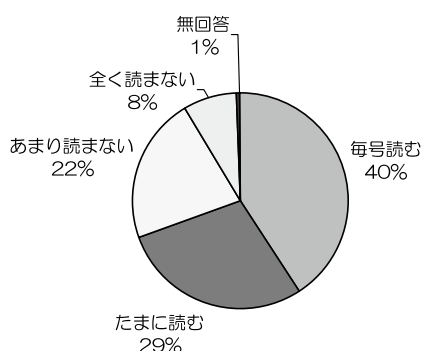
回答率：60%



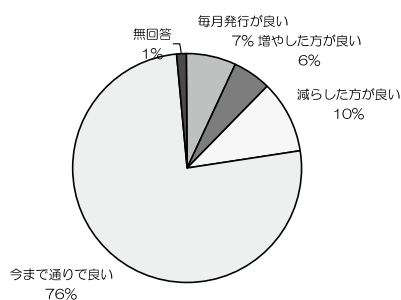
フクシ君

2. 調査結果

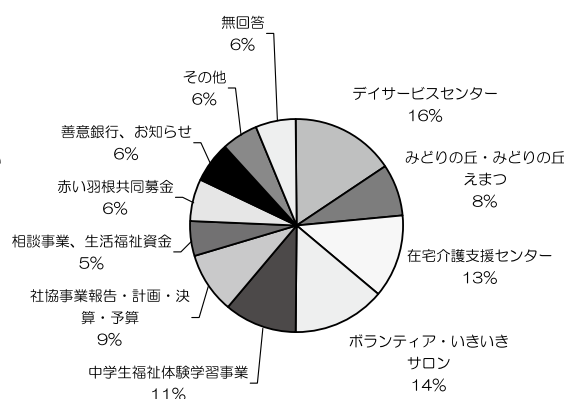
○読む頻度について



○発行回数について



○よく読む記事、情報について(複数回答可)



○掲載して欲しい活動、事業について

介護関係…介護の現状や費用について。(問い合わせ先や担当も明記してほしい)

デイサービス利用者への対応や心がけていること、利用者家族へのお願い。

学校関係…中学校の行事や生徒の活躍などを掲載し、大人から子どもまで楽しめるものに。

地域福祉…各事業所の活動紹介ばかりではなく、地域福祉を推進するために企画した内容の記事。

ボランティアやサロンの地域での活動内容。

その他…健康アドバイスや福祉の用語コーナーなど、読んで役立つ記事。

福祉関係の仕事について。



○ご意見、ご要望、ご感想など

発行方法…全戸配布ではなく、各地域回覧方式で毎月発行にする。

発行回数を減らして、内容を充実(ページ数増)する方法はどうか。

構成…大きな字、分かりやすい文章、写真や図を多く使い、子どもも読みたくなるように工夫する。たまにはカラーもいいと思う。

事業…地域の方がもっと社協との関わりを持つイベントを実施してほしい。

お年寄りばかりのイメージが強い。社協の活動内容が一般の人達にもっと理解してもらえるようなアピールが必要なのでは？

社協の活動をまだ知らない人もいると思うので、もっと具体的な話を広く紹介してほしい。皆が福祉に関心を持つ内容を期待する。



他にも多数のご回答をいただきましたが、紙面の都合上、全て掲載することができませんでした。申し訳ございません。

皆様から寄せられた貴重なご意見を、今後の広報活動並びに社会福祉協議会の事業に活かして参ります。今後も、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

平成22年度 川根本町社会福祉協議会事業計画

基本目標 みんなの力で ふれあいと 助け合いのまちづくりをめざして

重点目標 ◇助け合いと暮らしやすい地域づくりの推進 ◇ボランティア活動への参加の促進
◇福祉の理解と関心を高める福祉教育の推進 ◇福祉の情報提供・相談・ニーズ把握体制の構築
◇福祉サービスの充実 ◇社会福祉協議会の発展・強化

<月別事業計画>

- 年間 ◆福祉総合相談所の開設（毎週月～金曜日）
◆よろず相談所の開設（月2回）
◆無料弁護士相談所の開設
（5・6・8・9・10・12・2・3月）
◆民生委員児童委員協議会定例会（各月）
◆町内ふれあい・いきいきサロンの育成
◆食の自立支援事業
◆社会福祉協議会理事会、評議員会の開催
（5・9・12・3月）
◆かわねほんちょう社協だより発行
（6・9・12・2月）

- 5月 ◆児童福祉週間行事の推進
◆福祉票登録世帯調査
◆福祉体験学習事業の実施
◆ふれあい・いきいきサロン助成金の交付



- 6月 ◆北部地区児童遊園地・プール点検の実施

- 7月 ◆中学生ボランティア体験（7～8月）
◆社会を明るくする運動強化月間への協力

- 8月 ◆小中学生親子と民生委員児童委員との交流会
◆福祉講座

- 9月 ◆老人週間事業行事の推進
◆竹製品共同製作事業（買取開始）



フクシ君

- 10月 ◆赤い羽根共同募金運動への協力
◆健康福祉しずおかさわやかキャンペーン強化月間
◆遺族会本川根支部戦没者慰霊祭への協力
◆地域ボランティア交流事業の実施
◆災害ボランティア養成講座開催
◆静岡県健康福祉大会への参加
◆みどりの丘えまつ・民生委員児童委員協議会中川根支部の交流会



- 11月 ◆在宅援護者への調査
◆遺族会中川根支部戦没者慰霊祭への協力
◆北部地区ふれあい広場の開催

- 12月 ◆歳末たすけあい募金運動への協力
◆在宅援護者への友愛訪問の実施
◆南部地区ふれあい広場の開催

- 1月 ◆第2回川根本町社会福祉大会の開催
◆町内福祉教育実践校連絡会の開催

- 2月 ◆身体障害者福祉会、みどりの丘、民生委員児童委員協議会本川根支部の交流会
◆生活福祉資金（修学資金）活用指導と対象者調査
◆母子父子家庭小学校入学、中学校卒業生に対する祝品贈呈事業の調査
◆みどりの丘えまつ・民生委員児童委員協議会中川根支部との交流会

- 3月 ◆ふれあい・いきいきサロン代表者会議の開催
◆ボランティア講習会の開催
◆母子父子家庭小学校入学、中学校卒業生に対する祝品贈呈事業の実施

平成22年度 川根本町社会福祉協議会予算

*一般会計資金収支予算

収入合計 391,715 支出合計 391,715 (単位：千円)

勘定科目		予算額	勘定科目		予算額	勘定科目		予算額		
経常活動	収入	会費収入	1,780	支出	人件費支出	226,882	財務活動	収入	積立預金取崩収入	4,905
		寄附金収入	1,201		事務費支出	15,431		その他の収入	0	
		経常経費補助金収入	320		事業費支出	72,051		財務収入計(7)	4,905	
		助成金収入	219		貸付事業等支出	1,100		基金積立預金積立支出	2	
		受託金収入	69,481		共同募金配分金事業費	2,996		積立預金積立支出	850	
		貸付事業等収入	1,100		助成金支出	960		その他の支出	9,506	
		共同募金配分金収入	2,941		負担金支出	4,473		財務支出計(8)	10,358	
		負担金収入	2,705		会計単位間繰入金支出	0		財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△5,453	
		介護保険収入	203,667		経理区分間繰入金支出	52,738				
		自立支援費等収入	407		経常支出計(2)	376,631				
		利用料収入	1,343		経常活動資金収支差引差額(3)=(1)-(2)	△37,564				
		補助事業等収入	38							
		雑収入	55		収入	固定資産売却収入		0		
		受取利息配当金収入	872			施設整備等収入(4)		0		
		会計単位間繰入金収入	200		支出	固定資産取得支出及び繰入支出		1,141	予備費(10)	3,585
		経理区分間繰入金収入	52,738			施設整備等支出計(5)		1,141	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△47,743
		経常収入計(1)	339,067			施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△1,141	前期末支払資金残高(12)	47,743
									当期末支払資金残高(11)+(12)	0

*就労支援施設特別会計収支予算

収入合計 29,710 支出合計 29,710 (単位：千円)

勘定科目		予算額	勘定科目		予算額	勘定科目		予算額				
就労支援事業	収入	就労支援事業収入	2,454	福祉事業	支出	人件費支出	18,482	財務活動	収入			
		就労支援事業収入計(1)	2,454			事務費支出	4,755			財務収入計(10)	0	
	支出	就労支援事業支出	2,719			事業費支出	2,623			支出	財務支出(11)	531
		就労支援事業支出計(2)	2,719			経理区分間繰入金支出	0				財務活動資金収支差額(12)=(10)-(11)	△531
	就労支援事業収支差額(3)=(1)-(2)	△265	福祉事業支出計(5)	25,860	予備費(13)	600						
福祉事業	収入	自立支援費収入	21,694	福祉事業活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	△2,325	当期資金収支差額合計(14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)	△3,721					
		補助事業等収入	1,729	施設整備等収入計(7)	0	前期末支払資金残高(15)	3,721					
		寄付金収入	110	施設整備等支出計(8)	0	当期末支払資金残高(14)+(15)	0					
		雑収入	2	施設整備等資金収支差額(9)=(7)-(8)	0							
		会計単位間繰入金収入	0									
		経理区分間繰入金収入	0									
	福祉事業収入計(4)	23,535										

*収益事業特別会計収支予算(竹製品共同製作事業)

収入合計 3,894 支出合計 3,894 (単位：千円)

勘定科目		予算額	勘定科目		予算額	勘定科目		予算額		
事業活動	収入	事業収入	3,894	事業活動外	収入	特別収入計(8)	0			
		事業活動外収入計(1)	3,894			事業活動外収入計(4)	0	特別支出計(9)	0	
	支出	人件費支出	6			支出	会計単位間繰入金支出	200	特別収支差額(10)=(8)-(9)	0
		事務費支出	179				事業活動外支出計(5)	200	当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	0
		事業費支出	3,509						法人税・住民税及び事業税(12)	0
		事業活動支出計(2)	3,694						当期利益(13)=(11)-(12)	0
	事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	△200	事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	△200	前期繰越活動収支差額(14)	0				
	事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	200	経常収支差額(7)=(3)+(6)	0	次期繰越活動収支差額(15)=(13)+(14)	0				

社協会費納入のお願い

社会福祉協議会(以下、社協)は、住民の皆様一人ひとりが主役となって福祉のまちづくりを進める民間組織です。

社協の活動を支える財源は、皆様から寄せられた会費や寄附金、また、赤い羽根共同募金助成金や国・県・町からの補助金等ですが、中でも社協会費は、住民主体の理念を裏付ける重要な財源ともなっています。

皆様からお納めいただいた会費は、地域福祉活動推進のために有効に活用させていただきますので、今年度も皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

種別	金額	対象
普通会員	500円(年額)	各世帯
特別会員	1,000円(一口)	法人、企業、団体
賛助会員	1,000円(一口)	個人



福祉車両の貸出を始めました！

社協では、今年の4月より町内で暮らす車椅子利用者や寝たきりの方が、ご家族と共に移動する際に必要となる福祉車両の貸出を開始しました。

本事業についての詳細は、本川根事務所にお問い合わせ下さい。(☎59-2315)

- *利用範囲 病院・施設への送迎、福祉団体主催の行事参加、リフレッシュのために利用など。
- *利用料 貸出は無料ですが、燃料を満タンにしてお返し下さい。返却時は原状復帰でお願いします。
- *利用申請 利用したい方は、電話で本川根事務所へ利用予定日の空き状況を確認し、予約して下さい。原則として利用予定日の3日前までに利用申請書を提出して下さい。
- *貸出車両 【本川根事務所】ムーヴ（車椅子スロープ車）、ムーヴ（助手席サイドリフトアップ車）
※車の操作方法の講習は、初回ご利用時に実施します。



*運転ボランティア募集

運転手を手配できない方のために、福祉車両貸出事業の運転ボランティアを募集します。活動を希望される方は、社会福祉協議会へお問合せ下さい。

平成22年度災害ボランティアコーディネーター養成講座開催

災害時に、ボランティアや必要な支援を受け入れる体制づくりに関わる人たちの基礎講座として、下記のとおり開催します。関心のある方、どなたでも受講できます。ぜひ、ご参加下さい。

- *開催日 8月7日(土)、21日(土)、22日(日) *会場 山村開発センター
- *定員 40名 *内容 講義・グループワーク、避難所体験ゲーム(HUG)
- *問合せ 川根本町社協本川根事務所☎59-2315 / 中川根事務所☎56-1872
- *実施主体 静岡県ボランティア協会



善意銀行～心温まる善意をありがとう～

【寄附金の部】

平成22年5月28日現在、順不同

- *町立本川根小学校4年生一同様 *奥泉区 的場洋子様
- *富士ループ(株)(不要な入れ歯回収業者) *駿南「ゆずり葉」上映会実行委員会様
- *田代区 伊藤 聡様 *千頭区 安竹 安様 *静岡市葵区 竹中壽次様

【寄附物品の部】

- *さわんどクラブ様 *崎平区 川畑ヨウ子様 *匿名様



「宮崎県口蹄疫被害義援金」募集について

宮崎県では、4月20日の口蹄疫発生以来、口蹄疫防疫活動により影響を受けた畜産農家に対する支援を行なうため、「宮崎県口蹄疫被害義援金」を募集しています。

- *受付期間 平成22年5月14日(金)～7月30日(金)まで
- *受入口座 ※全国のゆうちょ銀行からの振込手数料はかかりません。

金融機関	支店名	口座番号	名義等
ゆうちょ銀行		01740-9-69998	社会福祉法人宮崎県共同募金会
	一七九店	(当) 0069998	

- *配分 義援金配分委員会(宮崎県、(福)宮崎県共同募金会等で構成)において決定し、市町村を経由して口蹄疫により被害を受けられた畜産農家に配分されます。
- *実施主体 宮崎県、(福)宮崎県共同募金会 ※この義援金は、税制上の優遇措置(所得税、法人税)が認められます。